


海外派遣研究助成事業による研究の成果

研究者氏名	伊藤 誠 
所属機関	愛知医科大学
・研究に従事した外国の研究機関名 ・参加した国際学会・会議名	37th ESTRO Annual Meeting (第37回欧州放射線腫瘍学会)
渡航期間	自：平成 30 年 4 月 19 日 至：平成 30 年 4 月 25 日
・研究内容 ・国際学会・会議内容	演題名「Prognosis predicting factors for thyroid eye disease in radiotherapy concurrent with pulse therapy」
<p>研究成果 (要約：800字)</p> <p>がん研究振興財団の「海外派遣研修者への助成事業」より助成をいただき、2018年4月20日～4月24日にかけて、スペイン(バルセロナ)で開催された第37回欧州放射線腫瘍学会に出席させていただきました。</p> <p>上記学会にて自施設における甲状腺眼症に対する消炎を目的としたステロイドパルス併用放射線療法の治療成績、及び再燃因子に関する検討結果を発表いたしました。解析結果では初回効果判定における奏効率は85.4%と非常に良好であるものの、2年の累積無再燃率は83.9%と一定の確率で再燃することが明らかとなりました。また、追加解析によって治療前の高いTSA値と小さい外眼筋SD値は再燃のリスク因子であるという新たな知見の可能性を示す事ができました。聴者からは治療前MRIの有用性を示した良い内容とお褒めの言葉を頂く一方、治療前検査に対する考察を追加した方が良い、あるいは結果に対して今後の治療戦略を考えるのかという御指摘の声をいただき、今後さらなる検討が必要であると考えました。</p> <p>自身の発表以外では肺癌・前立腺・頭頸部癌等、各分野のシンポジウム・教育講演を公聴し、治療戦略に関する最新の知見や他国の臨床がどのように執り行われているかということを知ることができました。特に肺癌のセッションでは昨年発表された臨床試験結果に対する考察が行われ、自身が論文を読むだけでは知り得ない結果・それに対する考察を学ぶことができ、大変貴重な経験となりました。</p> <p>今回学会に参加し、自身の発表及び公聴を通じて各分野の牽引者と意見を交わす機会が得られたことは、今後臨床・研究を行ううえで大変有意義なものとなりました。このような機会を与えていただいた、がん研究振興財団様に厚く御礼申し上げます。</p>	